



白馬セミナー参加

ホームスクールの全国大会のような「白馬セミナー」に家族全員で参加しました。全参加者五百人。そのうち半分が子どもたちです。大人が全体会や分科会に参加しているとき、子どもたちは「チルドレン・ミニストリー」といって、子どもたち対象の企画がなされます。

今回のメインの講師はテッド・ベア博士です。彼は、元パラマウント映画のプロデューサーで、神学博士・弁護士でもあります。彼は二十年ほど前からハリウッドの映画界にご意見番として入り込みました。今は、「ムービーガイド誌」を作り、映画の論評などを行っています。その論評のポイント

トは、聖書の基準からして見るにふさわしい映画かということですね。

実は、ハリウッドの映画界では特に一九六〇年代から暴力的、退廃的な映画を増産してきました。その結果、人々、特に若者たちに大きな影響を与えてしまったのです。彼らは、そのことを警告し

E G G P L A N T

エッグプラント
那須ファミリー
ホームスクール通信
2005.12.1
No.17



左がテッド・ベア氏

てきました。そして、実は家族的で、聖書の価値観を盛り込んだ映画の方が、興行成績もよいし、祝福されるということも訴えてきたのです。（ちなみに、昨年一番ヒットしたのは、「ミスター・インクレディブル、シュレック2、パッション」だそうです。）今では、聖書の観点から優秀な映画に賞を与え、スピルバーグを初め、有名な監督たちも意見を聞きに来るそうです。そして、いわゆる良い映画の割合が増えてきているということですね。

彼は、子どもたちや両親たちに対して、賢くメディアを使うことを奨励しています。メディア（映画、テレビ、まんが、雑誌等）のすべてが悪いというわけではなく、その良い点、悪い点を見分け、賢くも用いる必要があるのです。

このことは「メディア・リテラシー」として日本でも取り上げられることも増えましたが、聖書の観点から見るといことはまずありません。（例えば、NHKなどは、いい資料を提供してくれると共に、驚くほど進化論肯定、進化論オンリーということがわかります。）

すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。

（第一テサロニケ五章）

聖書は、しばしば古い価値観だとして中傷されます。しかし、クリスチャンたちは、創造主から人類が受け取った最高の基準と考えています。そして、その基準で物事を捉えるときに、何が間違っているかが判断でき、またその修復方法も知ることができるのです。

(K)

「二回目の白馬セミナー」

N

年に一度の全国のホームスクールやチャイルドスクールのみんなが集まる白馬セミナーに今回は、お父さんといっしょに参加しました。長野県に行く朝は、五時に起きました。そして、七時間もバスに乗りました。

夜は、星を見に行きました。外には、星座盤や懐中電灯、そして、りかキャンプで作ったコルキットも持って行きました。月は、すぐ動くのでコルキットをあわせるのが大変でした。しかし、いろいろ見えました。その中に「冬の大三角」「オリオン座」があります。どれもすぐくきれいでした。

三日目は、ピザ作りをしました。ピザの上には、ツナやベーコンやチーズそれにパイナップルものせました。ピザは大人にも食べてもらうためいっぱい作りました。大人もおいしいと言ってくれました。それに、江原 南ちゃんという新しい友達ができました。こんどもできれば、参加したいです。

いっぴいいっぴいしました！ 行事報告

十二月

- 一日 恐竜博二〇〇五（姫路のホームスクーラーと合流して）
 - 十二日 結婚式（N兄・K姉）
 - 十七日～十九日 チア・につぼん白馬セミナー
 - 二十三日 空手秋季昇級審査
 - 二十五日 ピケット夫妻訪問
 - 二十六日 「大阪城の謎探検」コース六回目
- おばあちゃん誕生日会

Mの読書コーナー

「暁の円卓」

ラルフ・イーザウ著

この全九巻二四〇〇ページからなるシリーズの舞台は二十世紀。「浄化」といって一〇〇年かけて人類を消滅しようともくろむ暁の円卓。そして暁の円卓に立ち向かっていく為生まれ、一〇〇年の命を持つ世紀の子デービッド。暁の円卓は暁王ベリアル卿を中心とした十二人のメンバーから成り立っており、世界中にいる。そしてあらゆる手を使って人類を破滅へと導いていく。第二次世界大戦、ケネディ暗殺、地下鉄サリン事件など二十世紀の忌まわしい出来事がずらずらと出てくる。アインシュタインに米大統領、ヒトラー、伊藤博文から麻原彰晃までいろいろな歴史上の人物も登場。そして読んでいるうちに自然に二十世紀の歴史が見えてくる。

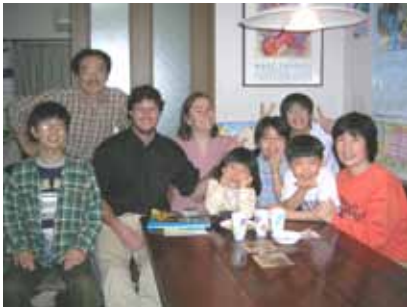
このシリーズは今世紀の世界の出来事が登場するが、著者がこのシリーズを日本のある事件を題材にしたせい、よく日本が舞台になる。日本人の名前も全部カタカナだし、また違った視点からの日本の歴史がよくわかる。主人公が授けられた少々の力の使い方を変えて、驚くべきことをする所や、社員の所に行き、直に戦う所は目が離せない。果して主人公デービッドは暁の円卓の勢いを止めることができるのか？読み出したら止まらないシリーズ。ぜひぜひ読んでください。



Mがはまった「まくら合戦」！
Mくんも気に入ったようです。



恐竜博 2005 T rex「スー」



B夫妻訪問。ホームスクールの記事を書いて、アメリカの雑誌に投稿するそうです。

おばあちゃんの誕生日会

H

今年特別なおばあちゃんの誕生日会でした。なぜなら、おばあちゃんとおじいちゃんの年齢を合わせると百五十歳になるからです。

そこで、私たちみんなでいろんなプレゼントをしました。Eは「北原白秋の五十音」、Rは「詩篇百二十一篇」を暗唱しました。上の三人はおばあちゃん知っている賛美歌の中から、Nは「神の御子にますイエス」、M兄ちゃんは、「あたらしき地に」、私は「主よ、ささぐる」などをピアノで弾きました。そして、兄弟みんなで歌のプレゼントをしました。おばあちゃんとおじいちゃんが喜んでくれた良かったです。

下関に住んでいるおばあちゃんは遠いのでいっしょに誕生日会をするのは無理なので、私たちは手紙でお祝いしました。私にとって大事な二人のおばあちゃんが元気でいてくれることを願っています。

編集後記

今年も残すところ一ヶ月。子どもたちはクリスマスまでをカウントダウン。もちろん、目当てはプレゼント。何を買ってもらうか、次々に変わって、迷うところが楽しいです。自分の小遣いに、規定の金額を足してプレゼントを考えている子もいます。何はともあれ、最も素晴らしいのは神さまからのプレゼントです。